

道 建 労 協 機 関 紙



Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会

〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPO 労働組合内)

電話03 (3563) 6744

URL: <http://www.doukenroukyou.com>

2011年 年頭挨拶

道建労協加盟単組の組合員の皆様、ならびにご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は新しい政権が本格始動し、その影響をまともに受けたのが建設業界でありました。新政権の予算編成により公共事業費は約18%の大幅減となり、一方の民間設備投資ではリーマンショック後からの立ち直りも“景気回復”や“受注”という数字になって表れず、まさに官民両面から厳しい一年でした。

この環境下、我々道建労協は『土曜閉所推進運動』を始めとして、“魅力ある道路建設産業”を目指して活動してきました。『土曜閉所強調月間』終了後は皆様大変お忙しい中、毎回アンケートにご回答いただき誠にありがとうございます。アンケートの自由意見欄では、「(土曜閉所運動のおかげで)土曜日に休めるきっかけができた。」といった意見がある一方、「毎年アンケートに答えているが何ひとつ変わらない。こんなアンケートは意味がない。」など、かなり辛辣な意見も散見されます。確かに進捗状況は少しずつかもしれませんが、我々の道路業界でこの活動を行っている組織は“道建労協”だけであり、この活動を停止させれば土曜閉所は“1mm”すら進まなくなります。道建労協は「建設産労懇」に加盟し、約11万人の仲間と共に「土曜閉所推進運動」に取り組んでおります。特に昨年度からは内閣府政策統括官より後援をいただき、その活動は確実に浸透していき、これからも建設産労懇の仲間と足並みを揃えて、活動を続けていきたいと考えております。

さらに、道建労協では加盟単組組合員の皆様に、道建労協をより身近に感じてもらい、『土曜閉所推進運動』をはじめとする様々な活動を広く知っていただくために、ホームページをリニューアルしました。インターネットの『道建労協』で検索して頂き、是非一度ご覧になって下さい。

道建労協も今年で設立26年目となり、次の四半世紀を歩みだします。私達の活動はもしかすると半歩ずつかも知れませんが、「土曜閉所推進運動」等の活動を通じ魅力ある道路建設産業を実現するため、組合協議会活動を進めていきますので、今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

最後になりますが、本年が道建労協加盟単組組合員の皆様にとって充実感溢れる一年となりますよう祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

議長
松本 晃

道建労協 議長 松本

「今年の漢字」

毎年12月にその年の世相を表す漢字一字を公募し、京都清水寺で発表されており、昨年の猛暑を反映して「暑」の一字が大きな和紙に描かれたのは記憶に新しいところである。

我々道路舗装業界に置き換えるところであろうか。昨年はアスファルト価格の変動による製品販売の好結果で、漢字一字ではないが「合材」といったところじゃないだろうか。

しかしながらここ数年は厳しい業界環境からか、どこへ行っても、だれと話をしても明るい話がない。厳しい話しか聞こえてこない。自分自身もそんな話しかしていないのではないだろうか。

我々業界を魅力的な業界にする為にも、せめて自分の心持ちから明るいものに変えていきたい。

今年の12月には「いい感じ」で「いい漢字」が思い浮かぶように明るくやっていきましよう！

東京舗装工業社員労働組合

野口光博

フリー
ウェイ

地協のない地域の交流会

四 国

10月27日（水）四国地区交流会が開催されました。

今回は労働環境における問題点、地域特有の問題点を中心に討議が交わされ各単組の取り組みなど、活発に意見交換が行われました。また、若手を中心に参加を呼びかけたが四国地区では半分以上の単組において1年～5年生が配属されていないケースが多く、20代の組台員が存在しない単組も複数

ありました。出席していた若手組台員に意見を聞いたところ、労働時間の長さや休日取得が困難などを理由に同期入社の社員が辞めていくという切実な問題もあり、建設業界の労働環境を良くして魅力ある産業にしなければならないという意見も出ました。意見交換会後の懇親会では、各単組バラバラに席に座り、他単組の話を聞くなど盛り上がりを見せました。

前田道路労働組合 清田 大輔



中 国

2010年10月28日（木）広島センチュリー21ホテルにて、地協のない地域の交流会（中国地区）が開催されました。

NIPPO、前田道路、大成ロテック、大林道路、フジタ道路の各単組から計14名が参加し活発な意見交換が行われました。

意見交換は主に、労働時間、土曜閉所運動、また地域特有の問題の3点が意見交換され、各社の施策やシステムの導入など意見交換にはすばらしい機会となりました。

また、交流会の後は懇親会も行われ、各社の組台員が各テーブルに別れて意見交換を行い、懇親を深めることができました。



NIPPO労働組合 山口 高史

九 州

2010年10月29日にアイピーホテル福岡にて、6単組19名、本部より3名の計22名により九州地区交流会が開催されました。

交流会では、土曜閉所強調月間の取り組み方、時短及び休日取得に伴う諸問題、地域特有の問題点（人員配置等）について意見交換が実施されました。

また今回は女性が3名参加され、契約社員の雇用形態及び執務室の分煙化対策について貴重な意見を聞くことができました。

特に入社1年目の方が複数参加され、現在配属されている職場の環境について説明してもらいました。長年この業界にいる私たちとはまた違った視点での意見に、新鮮に感じると同時によい刺激になりました。

その後、懇親会が行われました。別々の単組同士みんなて終始和やかで楽しい雰囲気での懇親会でした。

私自身、大変有意義な時間を過ごすことができました。今後も継続すべきですし、私も参加していきたいと思います。

大林道路職員組合 畑 大輔



地協活動報告



関西地協

2010年9月9日エール大阪にて、関西地協第21回定期大会が開催されました。

来賓として本部より松本議長に出席頂き、ふだん触れることの少ない道建労協本部の活動や、地道な活動により「土曜閉所推進運動」など、少しずつ

改善が図られている現状を説明頂きました。

厳しい環境下ではあればこそ諦めず前向きな姿勢が大事という事を、本場大阪において果敢にも笑いを交えてお話頂き、なるほど納得しました。

今回、三井住建道路根本議長、大林道路安井事務局長、大成ロテック竹内幹事が退任され、来期は大成ロテック西村幹事、NIPPO中村幹事、大林道路横原幹事に新しく加わって頂きます。前田道路 井本新議長のもと新メンバーで益々関西地協を盛り上げて行きたいと思います。

関西地協 事務局長 海保 潤一郎 (NIPPO労働組台)



第21回 道建労協関西地協 定期総会

第21回定期大会

2010年9月24日(金) 大林道路(株)中部支店会議室にて中部地協第21回定期大会が開催されました。

来賓として、道建労協本部より松本議長、高島副議長がご出席頂き、今後の建設業の動向、それに伴う道建労協の活動の在り方について、ご説明頂きました。厳しい情勢の中、何ができるのか、どうすべきなのかを、また真剣に見つめ直す良い機会にもなりました。

定期大会後の懇親会ではざっくばらんに、道建労協に属する単組同士での互いの意見交換も行われ、談笑も交えながら、時に真剣に語り合う事ができました。特に若年者、独身者の離職防止のレクリエーションができないかといった議題には、たくさんの意見が飛び交い、胸を熱くするものでした。



今大会において、平成19年度に議長も務めましたNIPPO・宮澤幹事、3期連続で務めました大成ロテック・目黒会計監事が退任となりました。本当にお疲れ様でした。今期は三井住建・沢尾議長を筆頭にますます楽しく、そしてますます真剣に中部地協の活動を行っていききたいと思います。

中部地協 事務局長 上辻 弘洋 (大林道路職員組台)

中部地協



北海道地協

2010年10月15日(金)、道建労協北海道地協 第20回定期大会を「ノボテル札幌」にて開催致しました。加盟単

組5単組(前田道路・NIPPO・大成ロテック・大林道路・三井住建道路)、計25名が出席、また本部より松本議長にお越し頂きました。

土曜閉所および労働時間の短縮を目標として活動することを共通して認識するとともに、引き続き年2回のレクリエーションを開催し、交流を深めることを確認いたしました。



定期大会後の懇親会ではビンゴ大会を実施し、デジタルカメラや女性限定エステ券など豪華券品で大いに盛り上がりました。

北海道地協 事務局長 大星 勇介 (NIPPO労働組台)

関東地協

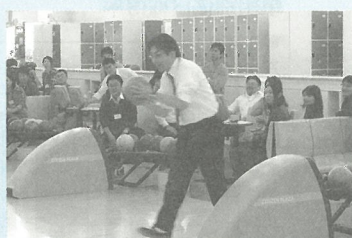


定期大会及びレクリエーション開催

平成22年11月13日(土) 新宿区高田馬場シチズンプラザにおいて、第21回関東地協定期大会を来賓として本部の和久副議長を招き開催し、各単組代議員へ活動報告等を行いました。今年度は半数近くの役員改選があり「新体制」として、昨年度以上に、地協及び各単組の活性化に付与していきたいと考えております。ご協力の程よろしくお願い致します。



定期大会風景



和久副議長 始球式

大会終了後、恒例となりましたボウリング大会を開催し、みなさん仕事を忘れゲームに興じていました。親睦会・表彰式では、お互いの健闘をたたえあうとともに、単組の枠を越えて交流を深める場となりました。

限られた予算ではありますが、今後とも活発な活動を計画しておりますので、皆様もご参加の程よろしくお願い致します。

関東地協 事務局長 菊池 善文
(前田道路労働組台)

土曜閉所推進運動アンケート結果 (2010年11月)

道建労協では、建設産労懇（建設産業労働組合懇話会）の仲間と共に毎年11月と6月の全土曜日を対象に事業所の土曜閉所推進運動強調月間と位置付けて、総労働時間の短縮に向けた運動を展開しております。今回は『意識を変えれば実現できる！休んで仕事の活力回復！「土曜閉所」』という標語が記載されたポスターを道建労協加盟単組の各事業所に配付して土曜閉所を呼びかけると共に、昨年を引き続き建設産労懇に於いて新聞記者を集め各組織毎のプレス発表を行い土曜閉所のPRを行いました。また、道建労協に加盟する組合の企業や関係団体等に要請書を提出し、土曜閉所推進運動への協力要請を行いました。今回も道建労協加盟単組 全事業所を対象にアンケート調査を実施しましたので結果をご報告させていただきます。1年前よりアンケート回収率80%以上を目標にしておりましたが、今回も81.8%と目標をクリアしました。

道建労協加盟単組 回収率対比

回収率	大林道路	大成ロテック	東京舗装	NIPPO	フジタ道路	前田道路	三井住建	全体
2008年11月	74.3%	78.3%	96.5%	57.3%	60.2%	64.2%	98.4%	67.6%
2009年11月	99.4%	85.0%	88.0%	59.8%	85.5%	90.9%	97.6%	81.4%
2010年11月	97.6%	91.6%	85.0%	65.1%	88.9%	84.1%	92.3%	81.8%
前年対比	-1.8%	6.6%	-3.0%	5.3%	3.4%	-6.8%	-5.3%	0.4%

全国の閉所率は前回11月20.1%に対して今回11月は20.2%とほぼ横ばいでしたが、休日取得率においては全体で50.4%と昨年47.9%に対し2.5%改善しました。閉所率・休日取得率とも3年前より着実に改善され、休日取得率に関しては今回初めて半数を超える結果となりました。

閉所率	07年	08年	09年	10年
6月	24.1%	25.0%	25.6%	29.9%
11月	17.9%	18.0%	20.1%	20.2%

休日取得率	07年	08年	09年	10年
6月	49.5%	51.6%	59.4%	52.9%
11月	44.1%	49.5%	47.9%	50.4%

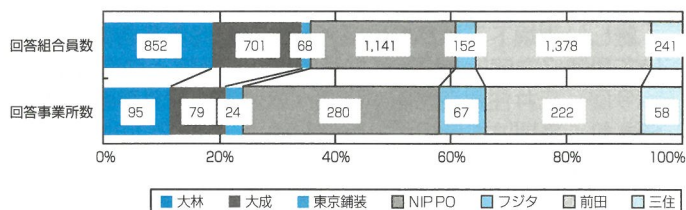
単組別事業所閉所率

	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	事業所数	平均閉所率
大林	10.5	12.6	13.7	13.7	95	12.6%
大成	3.8	6.3	7.6	3.8	79	5.4%
東京舗装	12.5	25.0	29.2	33.3	24	25.0%
NIPPO	26.1	27.9	30.0	26.8	280	27.7%
フジタ	26.9	41.8	43.3	38.8	67	37.7%
前田	4.5	13.1	7.2	9.0	222	8.4%
三住	37.9	36.2	44.8	36.2	58	38.8%
単組合計	16.8	21.7	21.9	20.1	825	20.2%

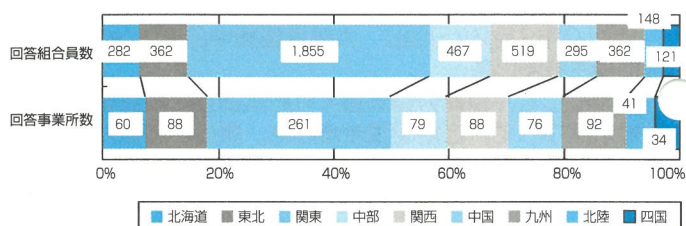
単組別組合員休日取得率

	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	組合員数	平均取得率
大林	48.1	49.2	48.7	49.9	852	49.0%
大成	42.4	47.2	43.9	44.8	701	44.6%
東京舗装	32.4	48.5	54.4	50.0	68	46.3%
NIPPO	52.1	52.4	56.3	55.0	1,141	53.9%
フジタ	41.4	57.2	57.2	52.6	152	52.1%
前田	36.9	60.2	57.0	41.7	1,378	48.9%
三住	59.8	61.0	74.7	61.8	241	64.3%
単組合計	45.0	53.9	54.1	48.6	4,533	50.4%

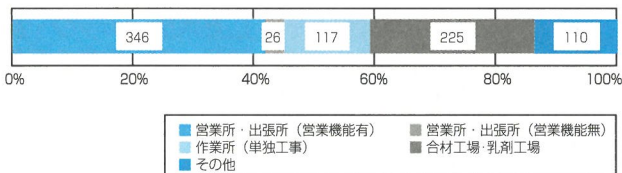
単組別の回答組合員数と事業所数



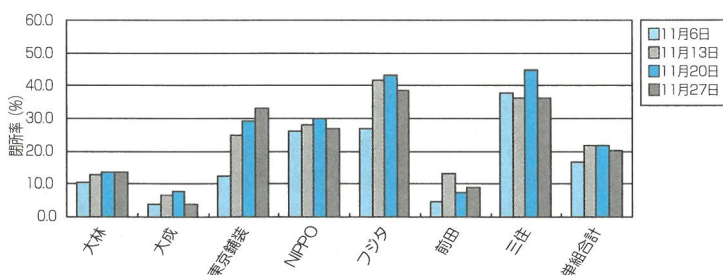
地域別の回答組合員数と事業所数



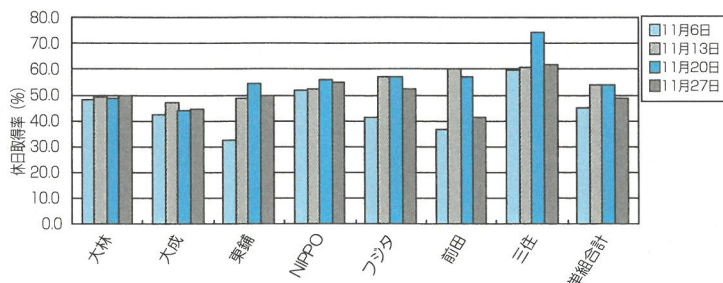
事業所の形態



単組別閉所率



単組別休日取得率



地域別事業所閉所率をみますと四国が33.8%と高く、逆に北陸が11.6%と低くなっております。地域別休日取得率を見ますと中国が61.9%と最も高く、北陸（40.4%）・北海道（42.1%）・東北（43.5%）と低く繁忙期の季節的な影響が数字に表れておりますが、北海道に関しては昨年（31.8%）から大幅に改善されております。

地域別事業所閉所率

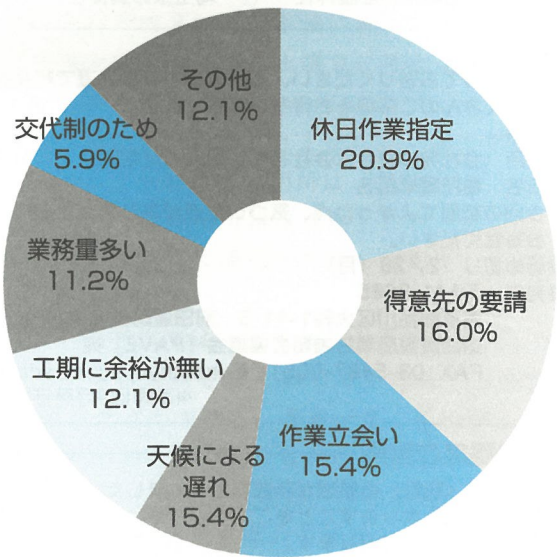
	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	全 日
北海道	18.3	18.3	16.7	16.7	17.5%
東北	17.0	19.3	20.5	18.2	18.8%
関東	16.1	19.9	23.8	21.8	20.4%
中部	20.3	25.3	27.8	3.4	23.4%
関西	14.8	18.2	18.2	15.9	16.8%
中国	11.8	27.6	19.7	22.4	20.4%
九州	18.5	22.8	20.7	19.6	20.4%
北陸	14.6	9.8	14.6	7.3	11.6%
四国	23.5	41.2	32.4	38.2	33.8%
本店・内勤	33.3	50.0	33.3	33.3	37.5%
全国	16.8	21.7	21.9	20.1	20.2%

地域別組合員休日取得率

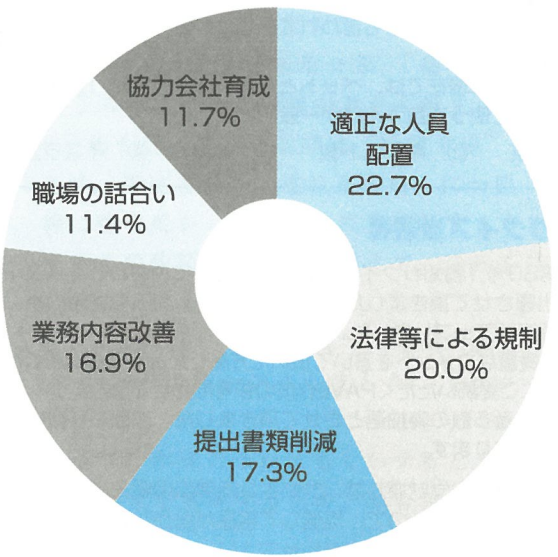
	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	全 日
北海道	35.8	42.9	48.6	41.1	42.1%
東北	36.2	49.7	47.5	40.6	43.5%
関東	42.0	50.0	51.4	46.5	47.5%
中部	49.3	59.3	61.5	50.5	55.1%
関西	46.8	53.9	54.7	44.7	50.0%
中国	53.2	67.8	62.0	64.7	61.9%
九州	51.1	57.5	56.4	49.4	53.6%
北陸	37.2	43.2	41.9	39.2	40.4%
四国	41.3	65.3	57.9	62.8	56.8%
本店・内勤	88.5	88.5	83.6	87.7	87.1%
全国	45.0	53.9	54.1	48.6	50.4%

事業所を閉所できない理由としては、『休日作業指定の工事があるから』が昨年11月と同様で20.9%と最も高く、『得意先の要請』が16.0%、『下請け・作業員の作業に立ち会う必要があるため』が15.4%と続き、上位3項目は前回の集計結果と同じでありました。休日取得・時短推進に望むものは、適正な人員配置22.7%・法律などによる規制20.0%・提出書類削減17.3%・業務内容改善16.9%の順になり、今回は前回2位であった提出書類削減が3位になり、法律などによる規制が2位に順位を上げました。

事業所閉所ができなかった理由



休日取得・時短推進に望むもの



道建労協は、これらの資料を各企業トップの方々に提示し、現状の説明と総労働時間短縮に向けた改善を引き続き行い、厚労省・国交省に定期的に訪問し土曜閉所運動への理解と協力を訴えていきます。また、道建協・日合協の本部・支部に対しても定期的な訪問を実施し意見交換会の申し入れも行い土曜閉所運動への理解協力を訴えていきます。

業務多忙の中、アンケートにご協力頂きました組合員の皆様、今回も回収率の目標をクリアしたことにあらためて御礼申し上げます。ありがとうございました。次回6月も『土曜閉所強調月間』として組合員の休日取得率の向上を目指した土曜閉所運動の取組を強化しますので皆様のご理解とご協力をお願い致します。



企業訪問・関係団体訪問

道建労協では、11月土曜閉所推進運動の協力要請の為に、10月上旬に企業訪問及び関連団体への訪問を実施している。今回は10月6日(水)から別表の日程で加盟単組企業及び関連団体への訪問を行った。各企業とも土曜推進運動には協力的で、全ての企業において社長通達や労働時間等設定委員会からの通達を出している。今回も、建設産業の仲間でもある建設産労懇にて、共同でプレス発表を行い、日刊建設工業新聞や労働新聞ほか数社の新聞社の記事として掲載された。



●企業訪問スケジュール

日付	時間	企業名
10月6日(水)	10:00~	三井住建道路(株)
	13:00~	東京舗装工業(株)
	15:00~	日本道路建設業協会
10月7日(木)	10:00~	大成ロテック(株)
	13:00~	(株)NIPP0
	14:30~	フジタ道路(株)
10月8日(金)	10:00~	厚生労働省
	11:00~	国土交通省
	14:00~	建設産労懇運営委員会(土曜共同プレス発表)
10月12日(火)	9:00~	前田道路(株)
	11:30~	大林道路(株)
10月13日(水)	13:00~	日本アスファルト合材協会

物知りクイズ

兎年は飛躍する年などと言われていますが、順調に事が進んでいるからといって、途中で「お昼寝」なんて禁物ですよ!!
さて、今回は「うさぎ」にちなんだクイズです。

- Q1** 卯年は干支でいうと四番目ですが、方角でいうと東になります。では、現在の時刻でいうと、何時頃をさすでしょう。
- ① 午前3時~5時頃 ② 午前5時~7時頃
③ 午前7時~9時頃 ④ 午前10時~12時頃

- Q2** 昔からウサギは、食用としても用いられてきました。ウサギは「羽」と数えていますが、これは、ある宗教で四本足の動物を食べることを禁止していたため、ウサギを鳥として扱ったことが由来だとも言われています。さて、その宗教とは何でしょう。
- ちなみに現在では、ペットとして飼うウサギは「匹」とか「頭」を使って数えるのが一般的です。
- ① 仏教 ② キリスト教 ③ 神道 ④ イスラム教

■物知りクイズ当選者

PAVE第80号「物知りクイズ」は、当協議会にふさわしく『道路』を題材に出題させて頂きました。やはり『道路』関係の問題の為、前回より正解率はアップしました。

回答時に貴重なコメントを書いて頂いた方ありがとうございました。今後も皆様にご愛読いただくPAVE作成の参考にさせて頂きます。

今回も当選者多数の為抽選とさせて頂きました。次回も多数の応募をお待ちしております。

※当選者への粗品の受け渡しは、今回より各単組の組合より送付させて頂く事になりましたので、当選して粗品が届かない等の問題がありましたら直接組合にお問い合わせ下さい。

前回の答え

- Q1 1.59~100 Q2 1.酷道
Q3 2.山口県 Q4 3.国土交通省道路局長

当選者

- 藤井 昌美 NIPPO労働組合 田中 英子 大成ロテック社員組合
荻原 高志 NIPPO労働組合 藤木 裕司 大林道路職員組合
佐伯 慶朗 東京舗装工業社員労働組合 矢田 幸博 大林道路職員組合
加藤 真 大成ロテック社員組合

編・集・後・記

玉川大学の発表によると、人間は「好きだけど手に入らない」と分かると「とたんに好きでなくなる性質を持つ」ものらしい。まさにイソップ物語で、喉が渴いたキツネが手(足?)の届かないブドウを見上げて「あのブドウはまずいから」と負け惜しみを言うのと同じである。皆休みは好きはずなのに、休めないと思ったとたん取得意欲が薄れていく状況が思い起こされる。

- Q3** 皆さんは、「月にはウサギがいて餅をついている」という話を聞いたことがあると思います。この話は、インドの神話がルーツになっているようです。

世界には、月にまつわる伝説や神話がたくさんあるようで、アラビアでは、ウサギとは別の動物の姿を月に見ていました。さて、その動物とはなんですか?

- ① ライオン ② イヌ ③ トラ ④ ラクダ

- Q4** 前の問題の通り、ウサギと月は古来より非常に縁の深いものとされています。その縁から、神社名にかけて狍犬ならぬコマウサギがいる神社があります。さて、その神社は、次のうちどれでしょう。

- ① 京都府の月読神社 ② 大分県の宇佐神社
③ 宮崎県の都農神社 ④ 埼玉県調神神社

〈応募方法〉

下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 解答
- 住所(会社宛の場合は会社名もご記入ください)
- 氏名 ●所属単組名
- 今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
- 締め切り 2/28(月)
- 宛先 〒141-8665
東京都品川区大崎1-11-3 前田道路労働組合内
道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛
FAX 03-5487-0051 E-mail:kumiai@maedaroad.co.jp

※次号は9月発行の予定です。

◆貴重なご意見

PAVE80号(前号)の感想が多数寄せられました。紙面の都合上、一部のみの掲載となりますことをご了承ください。今後も皆様からの色々な声をお待ちしております。

(大林道路職員組合所属の方より)

今回の記事で一番の注目は、土曜閉所推進運動アンケートの結果です。私個人としても、土曜は閉所して『家族サービス』や『身体の休息』を望んでいます。現在、一児の母として共働きをしつつ来春には2児の母となる予定で頑張っています。同じ建設業の夫をもつものとしては、6月と11月だけでも完全なる土曜閉所を期待したいです。

(NIPPO労働組合所属の方より)

レク活動で家族いっしょに潮干狩りのトピックスを読んで。久しくこのような催しを経験していないと気付く。子供が小さい時には結構催し物があり、参加していたが最近とはんとご無沙汰です。今の若い世代の方には申し訳ない気がします。

建設業は形のないものを売った後にモノを創り上げていく商売。発注者、工期、天候など、様々な外的要因で自分の思うように仕事を進められないことが休日取得率低迷の一因であることは皆とうに承知。

しかし一方、「いつも好きでいると、より好きになる」傾向もあるという。やはり諦めずに好きなままできていることが肝心か。皆さん、ひとまず伴侶は置いておくとともに、休みだけは好きでい続けましょう。

(NIPPO労働組合 有木秀龍)